

---

## 満月に吼える エターナル会議室

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

満月に吼える エターナル会議室

### 【Nコード】

N1776C

### 【作者名】

### 【あらすじ】

難事件に立ち向かう八曲署捜査一課。彼らの奮闘が始まる。

八曲署捜査一課の面々は難事件に直面していた。

犯人はその影さえ見せず、時間は刻々と過ぎていく。

今日は会議室で、今後の捜査方針を決める重要な会議がおこなわれていた。

捜査一課長ことボスのドスのきいた声が室内に響く。

「何か意見はないか」

「ボス、提案があります」

ボリと呼ばれるベテラン刑事が手をあげた。

「何だボリ、言ってみろ」

「この中の誰かが自首するというのはどうでしょうか」

「いいアイデアだな。休暇やるから帰れ」

「ボス、いい考えがあります」

ラメ入りスーツを着込んだズボンと呼ばれる刑事が手をあげた。

「何だズボン、言ってみろ」

「事件の早期解決は難しい状況です。そこで、犯人を一般公募してはどうでしょうか」

「そいつもナイスアイデアだ。明日からもうこなくていいから帰れ」

「ボス、ちよつといいですか」

今時坊ちゃん刈りの王子と呼ばれる刑事が手をあげた。

「何だ王子、言ってみろ」

「お腹すきました」

「鉛弾を好きなだけ食え」

ボスは立ち上がり、会議室備え付けのホワイトボードの前に来ると刑事達をにらみつけた。

「いいかおまえら！ 捜査方針だ捜査方針！ 投げやりアイデア大会やってるんじゃないやねんだ！」

ボスはそう言うと、ホワイトボードに「捜査方針」と大きく書い

た。

「ボリ！ これはなんて読むんだ！」

「ホワイトボードです」

「そうだ！ ホワイトボードだ！ ボーナスやるからラピユタにいつて飛び降りて来い！」

ボスはボリから視線をはずしてズボンの方を向いた。

「ズボン！ おまえならなんて読むか分かるな？」

「何語ですか？」

「さすがだズボン！ 今すぐピンポンパン体操しながら垂直落下しろ！」

ボスは全身を使って王子の方を向いた。

「王子！ おまえなら読める！ 信じているぞ！」

「ボス、鉛弾結構うまいっすよ」

「よくやった王子！ 屋上から等速直線運動で森に帰れ！」

ボスはホワイトボードに向かうと、今度はひらがなで「そうさほうしん」と大きく書いた。

「これならどうだ！」

振り返ると会議室にはボス以外誰もいなかった。

「うおおおおおお！」

ボスはダッシュで勢いをつけると会議室の窓を突き破って飛び出した。

こうして捜査一課は迷宮入りした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1776c/>

---

満月に吼えろ エターナル会議室

2011年1月21日16時09分発行